

## ONCC 第9期生 ぶらっと散策2 第7回散策 古曽部（高槻市）を散策

日時：2021年11月18日（木） 集合：午前10時 解散：午後3時 天候：晴れ

出席者：受講生34名、CA3名 計37名

午前10時、JR高槻駅改札口に集まったメンバーは3グループ（3班が他班に分散編入）に分かれて、CAさん・ガイドさん（4名）の説明を聞きました。当日のコースはアップダウンが多く距離も長いとの事前情報もあってか、スティックを持参された方も多かったようです。

午前中は、上宮天満宮、伊勢寺、伝能因法師墳、昼神車塚古墳を経て安満遺跡公園に到着、ここで昼食をとりました。

午後は、磐手杜神社、安満宮山古墳を巡った後、午後3時に解散しました。

今回は距離とアップダウンの関係で、午前中のみ参加の方もいましたが、好天と適温に恵まれ、秋日和を存分に楽しむことができました。

ガイドさん、CAさん、お世話になりました。

記録担当：2班



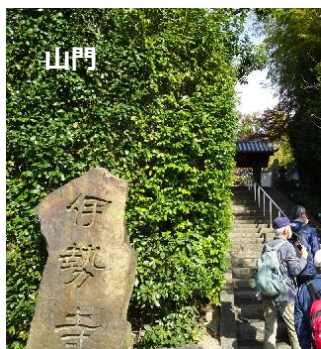
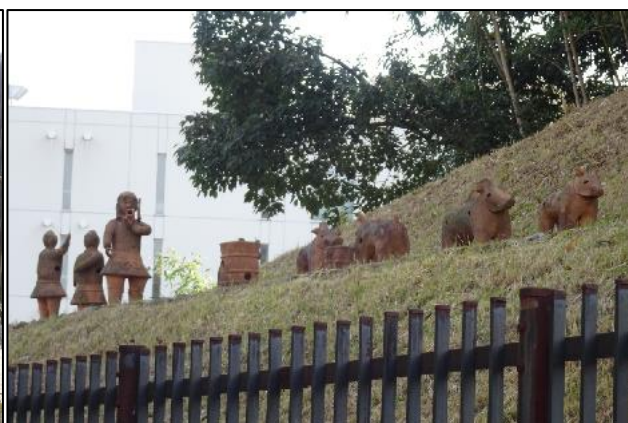
毘沙門天王  
石碑



上宮天満宮：菅原道真をまつる  
上宮天満宮は、大宰府に次いで  
全国2番目に創建された。



昼神車塚古墳：前方後円墳。昭和52年にイノシヤイヌ、角笛を持った狩人などの埴輪が出土し、古代の狩猟の様子を知ることができる古墳として注目を浴びた。



伊勢寺：平安時代の女流歌人、伊勢晩年の旧居跡と伝えられている。現在の諸堂は、元和から寛永の頃（17世紀前半）宗永によって建立された。



本堂



伊勢姫の歌碑：恋多き女性としても有名な伊勢。藤原仲平・時平兄弟、平貞文、さらには宇多天皇の寵愛も受け、皇子を一人もうけた。



**伊勢廟堂**：伊勢を祀った伊勢廟堂は本堂の西側にあり、廟碑は慶安4年（1651）に高槻藩主永井直清が建立した。

**和田惟政の墓**：境内には高槻城主であった和田惟政の墓がある。惟政は「白井河原合戦（茨木市）」で討ち死にした。



**日吉神社**：戦国時代に近江の日吉神社から分祀されたと伝えられる。江戸時代に再建された社殿は荘重な建物で、地域の守護神として守られてきた。

**伝 能因法師墳**：平安時代中期の歌人で、能因法師の墓と伝えられ、能因塚の名で親しまれている。



**安満遺跡**：近畿地方でもいち早くコメ作りを始めた弥生時代の環濠集落跡。2500年前、稲作技術を携えた開拓者たちが水田を拓き、先住の縄文人たちと共生する中で新たな弥生文化が花開いた。

**安満遺跡公園**：令和3年3月に約22ha（甲子園球場5個分）の広大な緑のセントラルパークとして全面オープンした。弥生時代の大集落跡を整備した公園で、施設や店舗が充実している。



**磐手杜神社**：記録で見える限りでは南北朝から存在が確認される安満村の鎮守社。“磐手杜”とは境内の社叢の事で、古来より歌枕（和歌の題材とされた日本の名所旧跡のこと）として有名だった由。

**安満宮古墳**：3世紀後半、邪馬台国の時代に築造されたと考えられ、中国・魏の年号「青龍三年(235)」銘鏡や三角縁神獸鏡を含む青銅鏡5面などの貴重な遺物が出土した。

